

木津川上流部大規模水害・土砂災害に関する減災対策協議会
第10回 協議会 議事概要

開催日時：令和3年10月15日(水)15:00~16:00

開催場所：Web会議

【出席者】

＜木津川上流部大規模・土砂災害に関する減災協議会 構成員＞

津市 津市長（代理出席：危機管理部防災室長）
名張市 名張市長
伊賀市 伊賀市長
笠置町 笠置町長
南山城村 南山城村長（代理出席：参事）
宇陀市 宇陀市長（代理出席：危機管理監）
山添村 山添村長
曾爾村 曾爾村長
御杖村 御杖村長
三重県 水災害対策監
伊賀建設事務所長（代理出席：事業推進室流域課長）
伊賀地域防災総合事務所長
津建設事務所長
津地域防災総合事務所長
京都府 建設交通部理事
奈良県 県土マネジメント部河川政策官
宇陀土木事務所長
木津川ダム総合管理所長
津地方気象台長
奈良地方気象台長
木津川上流河川事務所長
紀伊山系砂防事務所長（代理出席：調査課長）
淀川ダム統合管理事務所長
西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部長（代理出席：安全推進室長）
伊賀鉄道株式会社 鉄道営業部長
国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター 近畿北陸整備局長

1. 開会

- ・伊賀市長より挨拶
 - 今年は2度の記録的な集中豪雨が発生した。
 - 7月には、梅雨前線が停滞し、伊豆諸島で線状降水帯が発生して、一日の降水量300ミリを超える大雨となった。静岡県熱海市で発生した土石流災害では、多くの尊い命が失われた。特に、東海地方から関東地方南部を中心に断続的に雨が降り、静岡県の複数の地点で72時間降水量が観測史上1位の値を更新するなど記録的な大雨となった。
 - 8月には、日本列島に停滞した前線に伴う大雨で、土砂災害警戒情報が36都道府県で出され、多くの河川が氾濫する等、広範囲かつ甚大な被害をもたらした。
 - 木津川上流管内では目立った被害はなかったが、災害に備え対応できるよう、この協議会を意義あるものにしていきたい。
 - 平成21年3月に策定された淀川水系河川整備計画が、令和3年8月に変更された。流域のあらゆる関係者が協働して取り組む治水対策として、流域治水の推進が挙げられている。気候変動の影響、社会状況の変化等を踏まえて、防災・減災が主流となる社会にすることが必要である。
 - 本協議会では、令和3年3月にまとめた「流域治水プロジェクト」について、淀川水系河川整備計画の変更及び各機関の事業メニュー追加についての議論、あるいは情報交換を行う。

2. 情報共有・意見交換

(1) 流域治水プロジェクトの更新について

- ・淀川水系河川整備計画の変更および流域治水プロジェクトの更新について、事務局より説明を行った。説明内容について、各構成機関から質問や意見はなかった。
- ・「淀川水系流域治水プロジェクト 木津川上流分会」で取り組む対策を追加変更することが決定した。

(2) 流域治水プロジェクト×グリーンインフラの作成について

- ・流域治水プロジェクト×グリーンインフラの作成について、事務局より説明を行った。説明内容について、各構成機関から質問や意見はなかった。

(3) 特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律について

- ・特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律について、事務局より説明を行った。説明内容について、各構成機関から質問や意見はなかった。

(4) 水害リスク情報の充実について

- ・水害リスク情報の充実について、事務局より説明を行った。説明内容について、各構成機関から質問や意見はなかった。

(5) 流域治水プロジェクトの効果について

- ・流域治水プロジェクトの効果について、事務局より説明を行った。説明内容について、各構成機関から質問や意見はなかった。

(6) 減災協議会の取組方針の更新について

- ・減災協議会の取組方針の更新について、事務局より説明を行った。説明内容について、各構成機関から質問や意見はなかった。

(7) 幹事会の規程改訂について

- ・幹事会の規程改訂内容について、事務局より説明を行った。説明内容について、各構成機関から質問や意見はなかった。

(8) 閉会

- ・木津川上流河川事務所長より挨拶
 - グリーンインフラを取り入れた流域治水プロジェクトを取りまとめて、公表していきたい。
 - 流域治水プロジェクトは、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に位置付けられている。流域治水に関する事業は、流域治水プロジェクトに取り入れて推進していただきたい。

以 上